

和地ひとみレポート No.99

日本初女子フルマラソン開催地記念事業

記念事業費518万円の将来的な活用と広がり期待



■モニュメントデザインへの市民の投票

…今年度予算審議の際にも、様々な意見の出た「日本初女子フルマラソン開催地記念事業」。100%市財源を使用し特別に実施されるこの事業に対し、市民の皆さんはどれだけ関心をもっているのでしょうか。

予算額は518万円。この予算の目的は「住みよい、活気あるまちづくりのために」とされ、市のPRや知名度アップ、広くは観光＝市外の方にも訪れてもらいたいという趣旨の事業ですが、その主な事業内容は、モニュメントの建立です。先月、市はモニュメントのデザイン案をホームページに掲載。市民からの投票結果を受けて、デザインを決定するという方法をとりました。その投票結果が10月29日の午前中に『日本初女子フルマラソン開催地記念モニュメントデザイン選定委員会議』で発表され、最終的なモニュメントのデザインが決定されています。

■市民参加のカタチとは

…モニュメントの建立については、「日本初女子フルマラソン開催地」であることをPRする意味も込め、市民だけでなく、全国のマラソン愛好家の方に広く寄付を募って建立するべきだと和地ひとみは意見を出させていただきましたし、そのほかの議員の方からも同じような趣旨の意見が多く出ています。

…全国的に見ても、記念碑などの建立について賛同者に寄付を募る例は多く、寄付をした方々が末永くその記念碑について記憶し、親近感を持ち、人に話して広めてくれるなどの効果の他に、定期的にその記念碑をキレイに保つための清掃などのボランティアに参加して下さるということにまで広がっている事例もあります。

…東大和市としては、モニュメントのデザインを市民投票で決定するという形で市民参加を呼びかけたということだと認識しています。しかし、その呼びかけ方法に関しても、市役所の正面玄関に大きくデザイン案を大きく張り出すなどして来庁者の多くが事業を知り、投票できるような仕掛けなどがなかったことは事業趣旨を考えた上でも、もう少し工夫ができたのではないかと考えます。

■事業趣旨を達成するための今後の取組みは

…最初に述べたとおり、当該事業の趣旨は市の知名度アップとその先の産業振興、観光までつながっていますが、現在予定されている記念事業はモニュメントの除幕式を駅伝の開会式に実施することのみ。




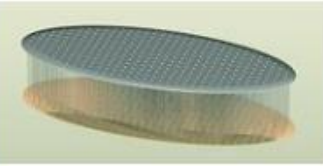
この事業予算518万円は、市全体の予算からみたら大きくないのかもしれませんが、しかし、一方でこの518万円で作れることを考えると、優先順位や効果を考えた場合、様々なアイデアが出てくるのではないかと考えます。

…まだ、最終的なデザインは発表されていませんが、今回のデザイン案は以下の4点です(鮮明な画像やデザインコンセプトなどをご覧になりたい方は市のホームページをご参照ください)

…事業趣旨の市からの説明により、モニュメント建立が当該事業のゴールではないことは明らかです。

数年後、市民がこのモニュメントを見た際に『何のモニュメントなのだろう?』と首をかしげることはないように、そして更に、モニュメント建立を機に多くの方に「東大和は日本初女子フルマラソン開催地」であることを認知してもらえよう、様々な事業展開を市は今後も行っていく必要があると考え、都度、市に確認をしていきたいと思えます。

候補作品

作品番号 1	作品番号 2	作品番号 3	作品番号 4
			
水の精	狭山公園のための石の彫刻	groov	「たもつーつづく」